

作成日 2023年 9月 5日

安全データシート

1. 化学品および会社情報

化学品の名称	2-メチル-2,4-ペンタンジオール 2-Methylpentane-2,4-diol
製品名	ヘキシレングリコール
製品コード	F-040876
SDS整理番号	ZC23018-01
会社名称	善ケミカル株式会社
住所	東京都台東区台東2-30-2 善ビル3階
電話番号	03-3839-5861
FAX番号	03-3839-5877
緊急連絡電話番号	03-3839-5861
推奨用途および使用上の制限	クリーニング用洗剤、切削油、木材防腐剤、溶剤、浸透剤、軟化剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分4
健康に対する有害性	皮膚腐食性/刺激性 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2 区分2A 区分3(麻酔作用、気道刺激性)
環境に対する有害性		該当区分なし

注) 上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については「分類対象外」、「区分に該当しない」または「分類できない」に該当する。

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H227 可燃性液体
H315 皮膚刺激
H319 強い眼刺激
H335 呼吸器への刺激のおそれ
H336 眠気またはめまいのおそれ

注意書き

【安全対策】

P210 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
P264 取扱後は手や顔をよく洗うこと。
P271 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水や石けんで洗うこと
P304+P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。
P332+P313 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
P337+P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P370+P378 火災の場合: 消火するために粉末消火剤、泡消火剤、大量の水、二酸化炭素を使用すること。

【保管】

P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P405 施錠して保管すること。

【廃棄】

P501 内容物、容器の廃棄を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

GHS分類に関係しないまたはGHSで扱われない他の危険有害性
重要な徴候および想定される非常事態の概要

情報なし
情報なし

3. 組成および成分情報

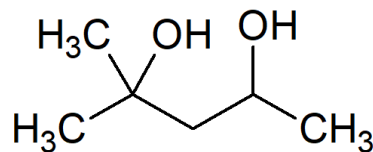
単一物質・混合物の区別
化学名または一般名

単一物質
2-メチル-2,4-ペンタンジオール
2-Methylpentane-2,4-diol
ヘキシレングリコール、2,4-Dihydroxy-2-methylpentane、
2-Methyl-2,4-pentanediol 他
107-41-5
C₆H₁₄O₂ (118.17)

慣用名または別名

CAS番号
分子式 (分子量)

構造式または示性式



成分および濃度または濃度範囲
官報公示整理番号

99.0%以上

化審法： (2)-240
安衛法： 公表化学物質

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

皮膚を多量の水と石けんで十分に洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

急性症状および遅発性症状の最も重要な徴候症状

気分が悪いときは医師に連絡すること。
吸入: 頭痛、めまい、し眠、咽頭痛、協調運動失調、中枢神経系の抑制。
皮膚: 刺激、発赤、皮膚炎、皮膚感作。

眼: 刺激、発赤。
経口摂取: 胃痙攣、下痢、吐き気、嘔吐。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項
医師に対する特別な注意事項

適切な保護具を着用する。
データなし

5. 火災時の措置

適切な消火剤
使ってはならない消火剤
火災時の特有の危険有害性

粉末消火剤, 泡消火剤, 大量の水, 二酸化炭素
情報なし

特有の消火方法

加熱により容器が爆発するおそれがある。
火災によって刺激性、腐食性または毒性のガスを発生するおそれがある。
周辺火災の際は危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火活動は、有効に行える最も遠い距離から、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。

消火活動を行う者の特別な保護具および予防措置

消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

ただちに、すべての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外の立入りを禁止する。
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
作業者は適切な保護具(「8.ばく露防止および保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
風上に留まる。
低地から離れる。

環境に対する注意事項
封じ込めおよび浄化の方法および機材

環境中に放出してはならない。
ウエス、乾燥砂、土、おがくずなどに吸収させて回収する。
大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い	技術的対策	『8.ばく露防止および保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 火気注意。 接触、吸入または飲み込まないこと。 空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 取扱い後はよく手を洗うこと。
	安全取扱注意事項	
	接触回避 衛生対策	
保管	安全な保管条件	情報なし
	安全な容器包装材料	消防法で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止および保護措置

管理濃度		未設定
許容濃度	日本産衛学会（2009年版） ACGIH（2009年版）	未設定 TLV-TWA: 25 ppm、TLV-STEL: 50 ppm、10 mg/m ³
設備対策		高熱工程でミストが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 適切な呼吸器保護具を着用すること。
保護具	呼吸用保護具 手の保護具 眼、顔面の保護具	情報なし 適切な保護手袋を着用すること。 適切な眼の保護具を着用すること。 保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）
	皮膚および身体の保護具	適切な顔面用の保護具、保護衣を着用すること。

9. 物理的および化学的性質

物理状態	液体
色	無色～ほとんど無色
臭い	特異臭
融点/凝固点	-40℃
沸点または初留点および沸点範囲	197℃
可燃性	データなし
爆発下限界および爆発上限界/可燃限界	上限: 7.4%、下限: 1.3%
引火点	96℃
自然発火点	306℃
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	
[水]	混和
[その他の溶剤]	
可溶:	エーテル、アルコール、多くの有機溶剤
n-オクタノール/水分配係数(log値)	0.58
蒸気圧	6.7Pa
密度および/または相対密度(g/ml)	0.92
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性および反応性

反応性	データなし
化学的安定性	適切な条件下においては安定。
危険有害反応可能性	特別な反応性は報告されていない。
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	二酸化炭素、一酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性	経口	ラットLD50値: > 2000mg/kg
	経皮	ラットLD50値: > 2000mg/kg

吸入: ガス	GHSの定義による液体である。
吸入: 蒸気	データなし
吸入: 粉じん および ミスト	データなし
皮膚腐食性/刺激性	ウサギを用いた皮膚刺激性試験において4時間ばく露で刺激性が認められなかったとの記述あり。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	ウサギの眼に適用した試験において強い刺激性が認められたとの記述あり。
呼吸器感受性	データなし
皮膚感受性	モルモットを用いた試験において陽性反応は認められなかったとの記述あり。
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	ラットを用いた経口投与による催奇形性試験において母動物に一般毒性が認められる用量でも明確な生殖毒性は認められなかったとの記述あり。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ヒトばく露例で気道刺激性が認められたとの記述、ラットまたはマウスを用いた経口投与試験において麻酔作用を示唆する症状が認められたとの記述あり。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ラットを用いた経口投与試験またはウサギを用いた経皮投与試験において重大な毒性作用が認められなかったとの記述あり。また、ヒトを対象とした経口投与試験において毒性症状は認められなかったとの記述がある。
誤えん有害性	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	
魚類	96h LC50:>100 mg/L (Oryzias latipes)
甲殻類	48h EC50:>1000 mg/L (Daphnia magna)
藻類	72h EC50:>1000 mg/L (Selenastrum capricorn)
残留性・分解性	34.9 - 76.4% (by BOD), 44.3 - 97.7% (by TOC), 47.7 - 100% (by TOC) *既存化学物質安全性点検による判定結果: 良分解性
生物蓄積性(BCF)	データなし
土壤中の移動性	データなし
n-オクタノール・水分配係数	0.58
土壤吸着係数(Koc)	1
ヘンリー定数(PaM3/mol)	4.1 x 10 ⁻²
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託すること。
汚染容器および包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、またはリサイクルに関する情報	容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。
	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	該当しない
国連輸送名	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性等級	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
MARPOL73/78附属書II	該当しない
およびIBCコードによるばら積み輸送される液体物質	
国内規制	
陸上規制情報	消防法上の規定に従う。
海上規制情報	該当しない
航空規制情報	該当しない
輸送または輸送手段に関する特別の安全対策	道路法、消防法の規定によるイエローカード携行の対象物
その他の注意	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号

該当しない

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

消防法

第4類引火性液体、第三石油類水溶性液体(法第2条第7項危険物別表第1・第4類)

海洋汚染防止法

有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)

特定有害廃棄物輸出入規制法

特定有害廃棄物(法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号)

外国為替及び外国貿易法

輸入貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2の2号承認」

輸出貿易管理令別表第2(輸出の承認)

輸出貿易管理令別表第1の16の項

16. その他の情報

主な参考文献

安全データシート "2-メチル-2,4-ペンタンジオール【ヘキシレングリコール】", 職場の安全サイト 2019/03/15 改訂版

独立行政法人製品評価技術基盤機構 NITE統合版GHS分類結果 (2023.07更新版)

webデータベース "ezADVANCE"(2023/09/01 アクセス)

ウェブサイト "PubChem"(2023/09/01 アクセス)

安全データシート "2-Methylpentane-2,4-diol", 東京化成工業株式会社 2022/03/20 改訂版

安全データシート "2-メチル-2,4-ペンタンジオール", 富士フィルム和光純薬株式会社 2023/01/18 改訂版

SAFETY DATA SHEET (Hexylene glycol), Prasol Chemicals Limited, Revised on 2023/01/01

記載内容の取扱いについて

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常の実用を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

改訂履歴

2023年 9月 5日

作成